

BBS GROUP NEWS

（お客様とBBSをつなぐコミュニケーションツール）

BUSINESS BRAIN SHOWA - OTA GROUP NEWS

Vol.51
JULY 2016

特集

BBSのBPOサービス

高品質・高付加価値のBPOサービスで
お客様の競争力強化に貢献

BBS(Thailand)の経理業務支援サービス

的確かつ迅速な経営の意思決定につながる
経理業務プロセス構築をサポート

グループ会社のソリューション紹介

グローバルセキュリティエキスパート株式会社

EC-Council公認セキュリティ人材養成コース



高品質・高付加価値のBPOサービスで お客様の競争力強化に貢献

人口減少に伴う市場の縮小を背景に、多くの日本企業が構造改革やグローバル展開を加速しています。そうしたなか、BBSは間接部門の課題解決につながる高品質・高付加価値のBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスを提供し、お客様の競争力強化に貢献しています。



経理財務、人事給与分野のBPOサービスで業界トップクラスの実績

1967年に創業したBBSは、創設者が公認会計士だったこともあり、創業期から経理財務、給与計算などの会計分野を軸として多くのお客様にBPOサービスを提供しています。

某民間調査会社のBPO市場調査レポートによると、BBSのBPOビジネスの売上規模は、経理財務分野で業界第3位、人事給与分野で業界第3位(4位)と位置づけられています。しかし、単純なデータ入力を主業務とする企業が多いことを勘案すると、BBSは幅広い分野の専門的なBPOサービスを提供する企業として、日本随一の実績を有していると言えます。

BBSがBPOサービスを提供しているお客様の数は、経理財務分野で約250社、人事給与分野で約300社に上り、その

業種も多岐にわたっています。経理財務分野では日本トップクラスの小売業・製造業や大手外資系企業などに債務・債権・決算・税務などのサービスを、また人事給与分野でも、大手航空会社・小売チェーンや金融機関などに給与計算や社会保険関連などのサービスを提供しています。

多様なお客様のニーズ・要望に柔軟に対応するなかで、BBSはサービスを拡充し続けてきました。現在では、連結決算業務、開示業務、日本法人海外支店での多言語による経理財務業務、サービス業の営業事務支援、M&A企業のアドバイザー業務支援、小売業の店舗関連業務、大手製造業の役員秘書業務など、従来は「アウトソーシングが困難」とされていた分野にもサービスの範囲を広げています。

BBSのBPOサービス





「High Value BPO」で専門性の高い業務や構造・業務改革を支援

ビジネスの高度化や事業のグローバル化に対応すべく、BBSは、より高度なBPOサービス——「High Value BPO」を提供しています。各種業務を組織横断的に支援するフルラインナップBPOをはじめ、機能強化が必要な専門業務、グローバル化対応業務の支援、さらには構造・業務改革に向けた継続的なコンサルティングなど、付加価値の高いサービスでお客様の競争力強化に貢献しています。また、BBSでは、お客様のシェアード・サービス・センター(SSC)の業務改革コンサルティングも行っています。

BPOサービスネットワーク



サービス概要

High Value BPO

フルラインナップBPO

経理財務、人事給与だけでなく、営業事務から購買業務、コールセンター(ヘルプデスク)業務、さらには医療事務まで、幅広い業務運用を支援します。業界固有の業務のため「外部化は困難」とされていた多くの業務でBPOを実現しています。

専門サービスBPO

BBSには、50名以上の公認会計士・税理士、約20名の社会保険労務士のほか、実務に精通した業務コンサルタントも多数在籍しています。これらの人材によって定型的な事務処理だけでなく、お客様が「機能強化したい」と考える専門業務についてもサービスを提供します。

グローバルBPO

海外に進出している日系企業のお客様を対象に、海外支店における経理財務業務や人事給与業務を多言語でサポートします。同時に、日本に進出している外資系企業のお客様の経理財務業務や人事給与業務にも英語で対応します。

継続的な構造・業務改革支援

BBSにはBPO導入や業務改革(BPR)のスペシャリストも多数在籍しています。これらのスペシャリストは、財務部門や人事部門などでの勤務経験を有し、実務にも精通しています。組織横断的な改革の一環としてBPOを導入する場合、各部門や担当者の立場を十分に理解することが不可欠で、そのプロセスを踏むことなく進めるとプロジェクトは停滞します。BBSのスペシャリストはそうしたリスクを十分に認識した上で、継続的に構造改革・業務改革を推進し、BPOの効果を最大化します。

シェアード・サービス・センター(SSC)サービス

市場環境が大きく変化するなか、SSCやバックオフィス業務のさらなるコスト削減と品質向上が求められています。また、退職者が増加するなか、スタッフが長年蓄積してきたノウハウをいかにして継承するかも重要な課題となっています。こうした課題を抱えるお客様に向けて、SSCの効率化や品質向上、グローバル対応戦略の策定や見直し、専門人材のご提供など、幅広い支援サービスを提供し、ビジネス基盤の強化を継続的に支援します。

事例紹介

事例
1

フルラインナップBPO

お客様 大手住宅関連企業・A社様

シェアード・サービス・センターの機能強化に貢献

▶提供サービス

経理財務、人事給与、社会保険、コールセンター、コンサルティング

約50社のグループ会社をもつA社様は、日本市場の縮小化傾向を見据えて、自社シェアード・サービス・センター（SSC）の業務効率化が課題となっています。この課題に対して、BBSではSSC推進計画の策定と推進を支援すると同時に、お客様のSSCと共存しながら、経理財務と人事給与業務のBPOサービスを提供しています。

また、社会保険関連の手続き支援サービス[※]を提供するとともに、従来、他社に外部委託していたシステム操作・業務内容などに

▶サービス導入の効果

- 約20%以上のコスト削減
- SSCとBPOとの新しい共存モデルの構築

関するヘルプデスク業務についてもBBSが担当し、品質向上、コスト削減を行った上で安定的に運用しています。

BBSのBPOセンターでは、財務、人事、ヘルプデスクなど各分野間で業務・要員の連携を図り、品質向上、コスト削減を実現しています。こうした自社センターで蓄積した業務ノウハウをお客様への改善にも活かすことにより、お客様SSCの改革に貢献しています。

事例
2

専門サービスBPO

お客様 大手製造企業・B社様

定型業務の効率化だけでなく、専門業務の機能強化も支援

▶提供サービス

連結決算、税務、CFO支援、グローバル化支援、コンサルティング

グローバル展開を加速させるため全社での構造改革を推進しているB社様に向けて、BBSではフルラインナップBPO（経理財務＋人事給与＋役員秘書業務などの総務＋購買事務＋営業事務）を提供しています。

さらに従来はBPOが困難とされていた専門業務についても、各種の専門サービスBPOを提供。①単体／連結決算、②税務・

▶サービス導入の効果

- 約35%以上のコスト削減
- BPOの業務運用だけでなく、CFO代行支援も実施

社会保険関連業務[※]、③BPOコンサルタント（公認会計士）による本社経理財務部長の業務支援、④アジア拠点の業務効率化に向けた人事コンサルティングなどの専門サービスをお客様を支援しています。これらの「High Value BPO」は、B社様のバックオフィス機能の基軸となっており、お客様と一体となって構造改革・グローバル展開に取り組んでいます。

[※] BBSグループには税理士法人や社会保険労務士法人があり、税務業務・社会保険関連業務もワンストップでサービス提供することが可能です。



BBS本社機能の一部を「熊本BPOセンター」に移管

BBSでは、グループ全体の業務拡大に伴うバックオフィス機能を強化するために、熊本県への本社機能の一部移管を進めています。すでに東京本社および大阪・名古屋・静岡の各支店の経理業務・営業事務・IT関連業務を熊本に移しており、今後は専門的な業務についても移管することを予定しています。

本社機能の移転は熊本県では最初の事例であり、政府が進める「地方創生」（地域の人材活用・育成）の観点で行政やマスコミからも注目を集めています。またBBSでは、本社機能

移転によるメリットや、それによって得たさまざまな知見・ノウハウを踏まえて、お客様サービスの拡充を目指しています。

なお、2016年4月に発生した熊本地震による「熊本BPOセンター」への影響は極めて軽微で、同センターは4月18日に業務を再開しています。今後も熊本の優秀な人材とともに本社機能の移転を進めるとともに、被災地である熊本県の復興にも協力していきます。

関連トピックス

熊本県知事・市長もお招きし 本社機能移転の記念式典を開催

2016年6月27日、BBSの本社機能一部の移転完了を祝う記念式典が「熊本BPO第3センター」にて開催されました。東京企業の熊本県への本社機能移転はBBSが第一号であり、県・市からは非常に高い評価をいただいています。今回の記念式典も、震災の影響で閉鎖中の熊本城天守閣を背景に、震災復興セレモニーとして開催される予定でした。残念ながら当日は雨天のため、BPOセンターに会場が変更されましたが、かねてから「最大限の支援をしていきたい」と申し出られていた県・市側の思いを示すものでした。

式典には来賓として蒲島県知事をはじめ、熊本市の大西

市長、「リーグ・ロアツソ熊本の池谷社長などをお招きしたほか、あの「くまモン」や、「熊本城おもてなし武将隊」も出席。スピーチではBBSへの感謝の言葉とともに、“熊本を日本全国へ発信する！”という強い意思が表明されました。



©2010熊本県くまモン
オープニングセレモニーの様子

「アジアBPOセンター」をベトナムに開設

グローバル展開を進めるお客様のニーズに応え、BBSは海外支店のバックオフィス機能を支援するBPOサービスも提供しています。現在、熊本BPOセンターでは世界18カ国・28拠点の経理財務業務を多言語で運用しています。

さらに、この分野でのサービス力を強化していくため、2016年6月、「アジアBPOセンター」をベトナム・ホーチミンに開設しました。同センターには、英語・日本語の両方に堪能で、かつ日本の会計

基準の知識を有する優秀なスタッフが在籍しています。大連、蘇州などにある他社のBPOセンターを利用しているものの品質・価格面で課題を抱えているお客様の要望にも対応すると同時に、将来的には、現地法人のCFOの業務支援や、業務改善コンサルティング、システム導入支援といったコンサルティングサービスも開始する予定です。

的確かつ迅速な経営の意思決定につながる 経理業務プロセス構築をサポート

バンコクにオフィスを置くBBS(Thailand)では、最適な経理業務プロセスの構築を支援する幅広いサービスを提供し、タイに進出しているお客様の事業と収益の拡大をサポートしています。

タイ進出企業が抱える 会計経理業務の課題

近年の経済成長に伴い、製造業、流通業を中心に日本企業の進出ラッシュが続くタイ。現地法人や事務所を置く日系企業は、中小から大手グローバル企業まで約4,000社に上ります。

こうしたなか、多くの日系企業において会計経理の実務が課題となっています。中小・中堅企業では、コスト面から経理の専任担当者を駐在させることは難しいため、Management Director (MD)はモノづくりや営業など本来業務の時間を割いて慣れない経理業務に対応しています。現地にも会計経理業務をサポートする企業はあるものの、サービスは記帳代行が主体。経理上の課題解決に役立つアドバイスなどは期待できません。そのため「日本本社への月次報告が大きく遅れる」「月次報告する数値が不正確」「エクセルサマリーのみで細目が分からず、問い合わせでも回答が遅い、要領を得ない」といった問題が起っています。

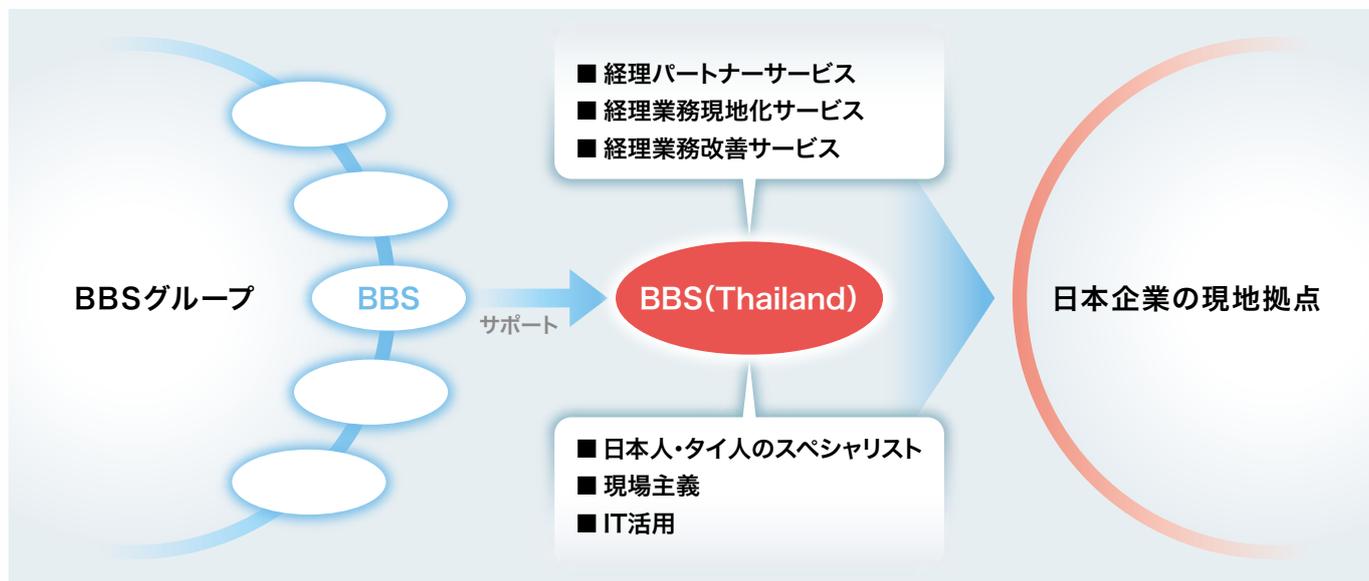
また、日本人の経理駐在員を置く中堅・大手企業の現地法人においても、ローカル経理マネージャーの能力は必ずしも高くなく、「トラブル対応ばかりで原価管理などの高付加価値業務ができない」「帰任させ駐在コストを削減したいが、マネージャーが成長しなければ帰任できない」といった問題を抱えています。

Feature BBS(Thailand)の特徴

経理の「見える化」「分かる化」 さらに「現地化」に貢献

BBS(Thailand)では、BBSグループの強みを活かし、現地の日系企業に多様な経理業務支援サービスを提供しています。スタッフには日本人の会計士やITコンサルタントのほか、タイ人会計士、日本語・タイ語の両方に堪能なコミュニケーションファシリテーター（通訳）も在籍。お客様MDへのヒアリングや経理担当者へのコンサルティングでは、日本人会計士と通訳が連携し、きめ細かな情報収集と提案活動を進めています。

BBS(Thailand)のサービスコンセプトは、経理の「見える化」「分かる化」「現地化」です。日本人・タイ人の専門家によるサポートやシステム導入によって経理業務を標準化・効率化し、お客様のコスト削減・利益拡大を支援するとともに、会計情報の透明性を高めることで不正の起こりにくい組織づくりに貢献しています。そして、こうした経理の「見える化」「分かる化」でPDCAサイクルを回し、お客様がローカルスタッフに業務を任せられる体制——経理の「現地化」を実現します。





会社概要

社名 BBS(Thailand)Co., Ltd.
 設立 2014年6月
 資本金 300万バツ(約1,000万円)
 代表者 COO 松江 芳夫
 事業内容 タイの日本企業現地法人への業務改善
 コンサルティングサービスを提供
 所在地 タイ・バンコク



タイだけでなくメコン地域のお客様
 ご相談に対応します。

Service BBS(Thailand)のサービス

個々のお客様の課題に応える 幅広いサービスを提供

BBS(Thailand)では、ITを活用したデータ記帳の標準化・効率化から、会計士による現地CFO(経理部長)の機能代行、個別課題の解決に向けたコンサルティングまで、お客様の課題に応える幅広いサービスメニューでソリューションを提供しています。

経理パートナーサービス

クラウドサービスの活用により 経理業務コストを大幅削減

クラウド会計システム「multibook(マルチブック)」を活用するサービスです。システム導入で経理業務にかかる負荷を大幅に削減。特にMD自身が経理業務を担っている企業では業務が効率化し、ビジネス拡大に向けた本来業務に集中できます。データ記帳によって会計情報が「見える化」「分かる化」され、タイムリーかつスピーディーな意思決定が可能になるほか、不正行為の防止にも役立ちます。

システムは、日本語、英語、タイ語に対応しており、MDとタイ人の経理スタッフ、日本本社の経理担当者が、リアルタイムで情報を共有できます。また現地の会計基準で入力しても、日本本社のERPや勘定奉行などの会計システムとスムーズに連携。財務諸表、GL、税務申告などの各種レポートも簡単に出力でき、報告資料作成の時間も大きく削減します。さらに、BBS(Thailand)の会計士がクラウド上の会計数値を分析して、Web会議などで他社ベンチマークやコスト削減提案などを行うサービスも提供しています。

経理業務現地化サービス

現地化により駐在員コストを大幅削減

BBS(Thailand)がお客様CFOの役割を担うことで、コスト削減や業務改善に貢献します。BBS(Thailand)の日本人会計士が定期的にお客様を訪問し、日本本社の指示に基づいて、会計報告や内部監査、不正監視ルールの制定など「現地CFO」としてのあらゆる業務を代行。

業務上の課題分析から改善施策の提案、改善フォローなどのサービスも提供しています。

経理業務現地化サービスは、日本人の経理担当者を駐在させている企業の大幅なコスト削減と同時に、事業の「真の現地化」に貢献します。また現地に日本人経理担当を置けなかった企業にとっても、日本本社の要請に対応した、信頼性の高い会計管理が低コストで実現できます。

経理業務改善サービス

現地経理業務の課題解決を支援

BBS(Thailand)の会計士が通訳とともにお客様を訪問し、現場目線・経営目線で経理業務の課題整理と改善を支援するコンサルティングサービスです。経理スタッフへの詳細なヒアリングによって現在の業務内容を把握し、課題・目標を整理。経理業務プロセスを標準化して、担当者が代わっても確実に業務を引き継げる体制を整備します。

より精度の高い原価管理手法の構築支援や、経理スタッフの指導、円滑なERP導入支援、内部監査の代行など、個々のお客様のニーズに対応した多様なコンサルティングサービスを提供し、コスト削減と経理業務の安定化に貢献します。



お問い合わせ先

BBS(Thailand)Co., Ltd.
COO 松江 芳夫

E-mail: info_th@bbs.co.jp

TEL: +66(0)2-261-3339(Thailand) +81(0)80-1084-1272(Japan)

EC-Council公認セキュリティ人材養成コース

BBSグループのグローバルセキュリティエキスパート(GSX)は、世界92カ国で情報セキュリティ教育、資格認定などのサービスを展開する米国EC-Council社と独占的販売代理店契約を締結。情報セキュリティ人材を育成する同社公認のトレーニングコースや資格認定試験を提供しています。

日本初! **現実の攻撃手法を学ぶ**
実践形式のトレーニングで
即戦力になる人材を短期間に養成

EC-Council公認トレーニングコースは、座学よりも「実践的なスキルの習得」に重きを置き、即戦力となる情報セキュリティ人材を養成するサービスです。GSXの専任日本人講師が、貴社のCSIRT(Computer Security Incident Response Team)、情報システム部門、開発部門のスタッフを、短期間のうちに組織を守る「ホワイトハッカー」や攻撃の痕跡を見逃さない「フォレンジック調査員」、堅牢なシステムをつくる「セキュアプログラマー」に養成します。

EC-Council社の資格認定試験は、米国国家安全保障局などの連邦政府機関や企業の指定資格となっており、海外で同社の資格を取得した人は18万人を超えています。

公認トレーニングコースの特徴

- 現実の攻撃手法について網羅的かつ体系的に学習
- 講習のほとんどがハンズオン実践形式
- コース終了後も演習専用空間で自習実演が可能

指定資格にしている主な機関とフレームワーク



コース概要

認定 ホワイトハッカー (CEH)	コンピュータ フォレンジック調査員 (CHFI) 近日開講予定	認定セキュア プログラマー (ECSP) 近日開講予定
実際のサイバー攻撃手法をもとに攻撃者の視点や技術を体系的・網羅的に学ぶことができます。	フォレンジック調査員に必要な攻撃の痕跡を調査する手法を習得できます。	バグや脆弱性を生まないプログラム手法を学び、手戻りが少なく、可読性の高いコードの書き方からセキュア開発に必要な総合的スキルまでを取得できます。
研修期間:5日間		研修期間:3日間

すべて日本語でトレーニング



お問い合わせ先

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 営業本部
TEL:03-3578-9001 FAX:03-3578-9020
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイティアム4F

EC-Councilセキュリティエンジニア養成講座Webサイト:
<http://www.gsx.co.jp/academy/academy.html>

編集後記

2016年4月、熊本地震が発生。震度7を超える2度の地震、そして度重なる余震――。3月、5月と熊本を訪問した筆者は、その2カ月での大きな変化を目の当たりにしました。熊本城は姿を変えつつも威風堂々と構え、力強さを感じます。表紙は古(いにしえ)から今も引き継がれる命をイメージし、前回に引き続き浦正氏に描いていただいています。今年8月に創業50周年を迎えた今、改めて古きも新しきも大切に、今後に活かしていきたいという想いを込めています。



株式会社ビジネスブレイン太田昭和

発行：BBS GROUP NEWS 編集室

〒105-0003 東京都港区西新橋1-2-9 日比谷セントラルビル21F
TEL:03-3507-1300 FAX:03-3507-1301
URL: <http://www.bbs.co.jp>

本誌に対するご意見ご要望を編集室までお寄せください。